

業界動向NEWS

家庭用サウナが進化 左官サウナで“サウナ付き住宅”を標準化へ

MySauna [東京都千代田区]

家庭用サウナの製造・販売を手がけるMySaunaは1月、ボックススタイルの内装に左官仕上げを選べるオプション提供を開始した。職人が1台ずつ手作業によって塗り上げるプレミアム仕様で、価格は200万円(税別)から。これまで業務用でしか味わえなかった左官仕上げの体験価値を家庭用でも展開する。

同社は、サウナをユニットバスと同等の普及率にすることを目標に掲げる設備メーカーだ。国産ヒノキの採用や国内一貫生産など純国産にこだわり、日本の職人技術を高付加価値化して世界へ発信する姿勢を打ち出している。昨年にはドイツのサウナ・スバンゾール領域の国際見本市「Aquanale2025」に出展し、欧州や中東の富裕層から引き合いを得るなど、メイド・イン・ジャパンの品質が高く評価されている。

今回開始した左官仕上げは、左官による表現方法から提案をしていく撚拌(東京都足立区)との協業によるもの。家庭用サウナとしては海外製品も含め、業界初のライオンアツプではないかと同社は見込む。木質のサウナは輻射熱で人体をしっかりと温めるのに対し、左官仕様は面で熱を抱え、包むように温める体感か特徴だ。使用するカチオン系ポリマーセメントモルタルの左官材は特定不燃材料としての認定を受けているため、安全性が高い点も特徴といえる。

MySaunaの特徴として、家庭用なが

ら35～110℃まで設定可能な熱環境を実現。高気密・高断熱設計により、温度の立ち上がりと保持を両立した。欧州では一般的な、低めの温度で長く入る入浴法にも対処しながら、高温ならではの体験も打ち出す。

サウナの熱源は電力で、予熱は1時間で約90℃に到達。電気代は1時間あたり約80円を目安に、予熱約1時間+入浴1時間の2時間で約160円を見込む。左官仕様でもセルフロウリユが可能で、温度変化を伴う運用に対応する。

同社は家庭用サウナの強みとして、「自宅で完結する体験価値」を訴える。サウナから水シャワー、外気浴、更衣までの動線を合理的に描ける点が家庭用の魅力だ。同社マーケティング部の吉田雄大さんは「設計段階から家庭用サウナを計画してもらえれば、もっとも合理的な動線を工務店の皆様と一緒に描ける」と話す。

また、オプションとなるが、Bluetoothに対応したデバイスを使用することで、サウナに設置したガラスのモニター越しに映像を楽しむことが可能だ。温まりながら映像や音を楽しむ点が、“自宅サウナの1時間の質”を高める要素としてユーザーから支持を集めている。吉田さんは「創業以来、ユーザーの9割が採用する人気の設備」と話す。

施工は200Vが前提で、契約容量は60～80Aを推奨する。受注生産により1ミリ単位でサイズ調整でき、狭小や変形ス

建材・設備



左官塗りオプションは、全ての「ボックススタイル」で、適用可能

物件への設置時には同社スタッフが立ち会い、納まりと手順を共有。現場での複雑な左官工程を抑えつつ、再現性の高い仕上がりを実現する。

住宅設備として計上すれば住宅ローンに組み込むことも可能だ。初期負担の平準化にもつながる。海外製で懸念されがちな部品供給の不安も、MySaunaは自社の国内工場でカバーする。

「純国産の精度、左官も含めた、MySaunaならではの豊富なオプション。そして“誰にも会わず、移動せず、すぐ寛げる”という家庭用サウナの価値を束ねて提案してほしい」と吉田さん。家庭内で完結するウエルネス装置として、左官サウナは工務店にとって心強い選択肢となる。

ドイツのサウナ・スバンゾールなどの国際見本市「Aquanale2025」に出展



操作パネルは温度調節やオン/オフタイマーを完備



これからの上質な日本の住まいのあり方と実例を提案する「SO 上質な日本のすまい」。それぞれの特集に沿った建築家による解説や住宅事例、地域の工務店によるバリエーション豊富な事例を掲載！自社の設計・提案に生かせる一冊です。

SO
上質な日本のすまい
High Quality Japanese House

SO
4
「上質な日本のすまい」

SO
3
「上質な日本のすまい」

SO
2
「上質な日本のすまい」